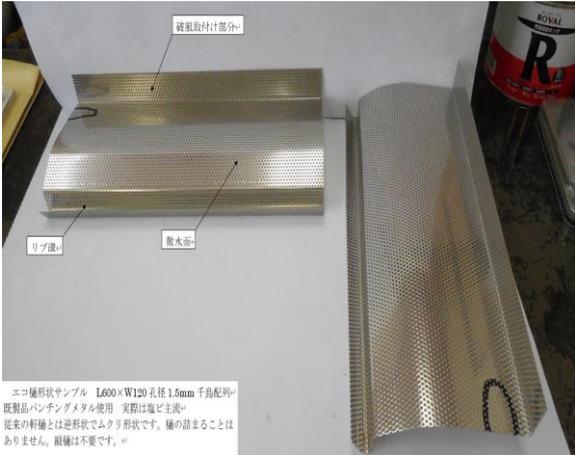


温暖化による災害を防止する軒樋散水型工法「レインブロッカー」

<p>概要・品質・性能</p>	<p>建物の軒樋からの雨水を粒状に落下させ、地中に浸透させて豪雨による下水道のオーバーフロー、河川の氾濫、地下水位の低下を防止する方法。散水型軒樋、および軒下に落下する雨水を処理する雨水処理マット、雨水処理パンからなる。</p> <p>散水型軒樋は住宅の破風板に取り付けるタイプと大型建物の折半屋根に取り付けるタイプがある。形状は従来の半円や角形と異なり起り（むくり）状で全面に貫通孔があり、ジョウロのように雨水を散水する。材質は従来と同様で塩ビ樹脂や金属製。建物が新築の場合は軒下に砕石を敷設するだけで雨水は地中に浸透する。浸透量は150mm/時に対応可能。ほとんどの屋根に使用でき、新築時には集水器や縦樋が不要なうえ、従来の地中の配管工事も不要となり、工事費の軽減が図れる。既設建物に取り付ける場合、軒下に落下する雨水は雨水処理マットと雨水処理パンを設置して処理する。取付け部分と一体成形しているため取付金具は不要で水平に取り付けられ、経年劣化して取り替えの場合も費用は従来の半額程度になる。</p>	<p>デモ機 外観 破風面下段の樋が対象物です。</p>  <p>2018.09.14 10:12</p> <p>軒樋パンチングメタル 形状</p>  <p>エコ樋形状サンプル L600×W120 孔径1.5mm 千鳥配列 既製品パンチングメタル使用 実用は塩ビ主体 従来の軒樋とは逆形状でムラ形状です。樋の詰まることはありません。取付けは不要です。</p>
<p>用途</p>	<p>① 豪雨による下水道のオーバーフロー、河川の氾濫などの災害防止</p> <p>② 地下水位の低下や地盤沈下の防止</p>	<p>技術移転</p> <p>① 形態 共同研究開発、生産委託（販売）</p> <p>② 相手先 問わない</p> <p>③ 地域 国内・海外いずれでもよい</p>
<p>実用化情報</p>	<p>[試作・実験] 完了</p> <p>[製造・販売実績] 無し</p> <p>[技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等、サンプル、その他（デモ機の動画）</p> <p>[情報提供者] (有)住 幸 代表 坂井 輝幸</p> <p>[連絡先] りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>特許番号：特許第6343110号</p> <p>登録日：平成30年5月25日</p> <p>特許権者／発明者：坂井 輝幸</p> <p>名称：軒樋</p> <p>実用新案番号：登録第3222899号</p> <p>実用新案権者／考案者：坂井 輝幸</p> <p>名称：折板樋散水型</p> <p>実用新案番号：登録第3223219号</p> <p>実用新案権者／考案者：坂井 輝幸</p> <p>名称：雨水処理マット</p>